

Pioneer

取扱説明書

9V型ワイドVGAモニター

TVM-W910 **HDMI**TM
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

7V型ワイドVGAモニター

TVM-W710

車への取り付けは、必ず本書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取付作業が完了しましたら、本書はお客様へお渡しください。

※ 別売部品の接続および取り付けについては、別売部品に付属の説明書も併せてご覧ください。

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- 本書では、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

carrozeria

もくじ

はじめに

安全上のご注意.....	3
使用上のお願い.....	7
守っていただきたいこと.....	7
液晶画面について.....	7

準備する

付属品.....	8
各部のなまえ (TVM-W910).....	9
各部のなまえ (TVM-W710).....	10

操作する

電源オン・オフのしかた.....	11
入力を切り換える TVM-W910のみ	12
音量を調節する TVM-W910のみ	12
ワイドモードを切り換える.....	13
モニター画面の明るさを切り換える.....	14
各モードの初期設定値（明るさ）を 変更する.....	14

各種設定のしかた

メニュー項目一覧.....	15
メニュー操作・設定のしかた.....	15
画質設定.....	16
音質設定 TVM-W910のみ	17
HDMI リンク設定 TVM-W910のみ	18
入力名称設定 TVM-W910のみ	19
モニター位置設定.....	20
設定を初期化する（リセット）.....	21

接続のしかた

接続の前に	
～知っておいていただきたいこと～.....	22
電源・AV インターフェースケーブルをつなぐ.....	23
HDMI 接続機器をつなぐ TVM-W910のみ	24
取り付けの前に	
～知っておいていただきたいこと～.....	25
モニターを取り付ける.....	26
取付金具を取り付ける.....	26
モニター本体を取り付ける.....	30
動作確認をする.....	33

ご参考



おもな仕様.....	34
故障かな？と思ったら.....	35

はじめに

■ 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。
 必ず行 っていただく強制の内容です。	

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V ⊖ アース車専用です

・ 24V 車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

・ エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

警告



禁止

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

・ 交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

・ 電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対に使用しない

・ これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

安全上のご注意 (つづき)



警告



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

- 取付・配線や取りはずしには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取りはずしをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

作業前はバッテリーの⊖端子をはずす

- ⊕、⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

- 付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

- 説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

- ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

- 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。



警告



強制

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

- ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

- 正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

- 誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

- 内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

本機を不安定なところに取り付けない

- 落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

- 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

- コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意 (つづき)

注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

- ・ 火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

- ・ 火災や感電の原因となることがあります。

分岐配線をしない

- ・ ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

- ・ 発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

- ・ 金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

- ・ 前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に映像を見ない

- ・ 前方不注意となり交通事故の原因となります。

液体で濡らさない

- ・ 発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

- ・ 思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

安全上のご注意 (つづき)

警告



接触禁止

雷が鳴り出したら、コードや本機に触れない

- ・ 落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

- ・ 交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

- ・ テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する

- ・ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない

- ・ 発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

- ・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

- ・ そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のお願い

守っていただきたいこと

エンジンを切った状態で長時間使用しないでください

- エンジンを切った状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗し、思わぬトラブルの原因となることがあります。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

お手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。跡がついたり、変色などの原因になります。

安全な走行のため、本機の取付位置に関する設定を必ずお守りください

- 本機はフロント用、リア用いずれの用途でもお使いいただけますが、運転者が走行中に映像を見ることができるところに取り付けた場合、モニター位置設定（☞ 20 ページ）でモニターの設置位置を必ず「フロント」に設定してください。

なお「フロント」に設定した場合、走行中などパーキングブレーキがかかっていない状態では映像が表示されない設計となっています。（走行中は「安全のため走行中は表示されません」のメッセージが表示されます。）運転者が映像をご覧になる際は、必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でお楽しみください。

使用上のご注意

- DC12V 車両以外（船舶等への搭載など）で使用されずと故障の原因となることがあります。
- 説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、責任を負いかねますのでご注意ください。

液晶画面について

取り扱い上のご注意

- 直射日光が当たる状態で長時間使用すると、高温により液晶画面が故障するおそれがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 本製品は指定された温度範囲内でお使いください。
- 液晶画面を強く押さないでください。故障や破損のおそれがあります。
- 液晶画面にみだりに触らないでください。キズや汚れの原因になります。
- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合がありますが、液晶画面特有の現象で故障ではありません。

LED バックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いの場合、液晶の特性上、残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。この場合、周辺温度が高まれば通常の画質に戻ります。
- 真夏の炎天下やエアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温になると、LED 保護のため自動的にバックライトの明るさを抑える場合があります。
- LED バックライトの寿命は 1 万時間以上を想定しておりますが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付センターにご連絡ください。

準備する

警告

取り付けや配線は専門業者にご依頼ください



- ・取り付けや配線は、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

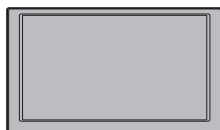
取付作業の際は、ショート事故防止のために車の電源を OFF にした状態で、バッテリーのマイナス端子をはずしてください。

取り付け、配線作業がすべて終わったあと、取りはずした車両の部品を元通りに取り付け、最後にバッテリーのマイナス端子を元通りにつないでください。

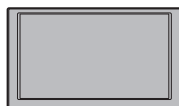
付属品

下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

モニター本体 (1台)



TVM-W910

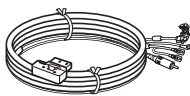


TVM-W710

電源・AV インターフェースケーブル (1本)



TVM-W910 用



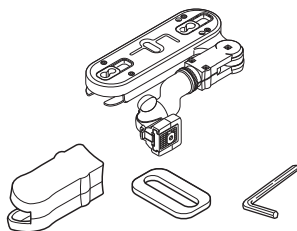
TVM-W710 用

HDMI コネクターカバー (1個)

※ TVM-W910 のみに付属



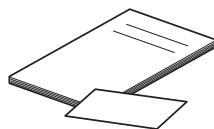
取付金具 (1式)



- ・モニター取付金具 (1個)
- ・アームカバー (1個)
- ・ラバースペーサー (2個)
- ・六角レンチ* (1本)

*取付金具に装着されています。

取扱説明書・保証書 (各1部)

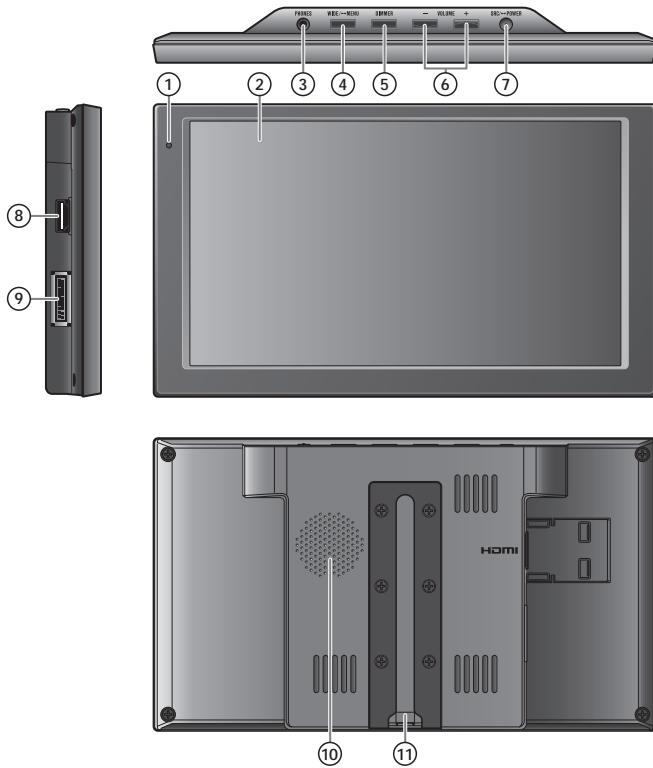


保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。

※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

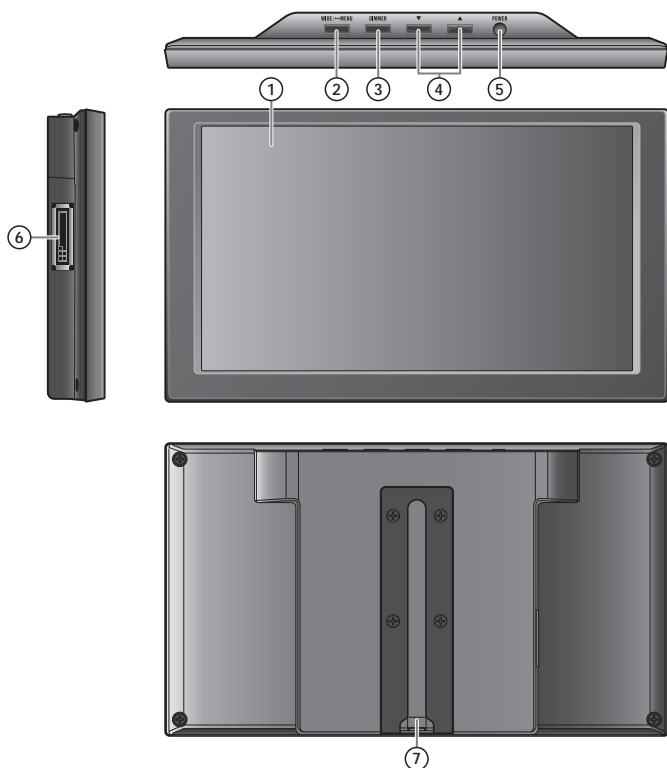
※ 電源・AV インターフェースケーブルのヒューズ規定容量は 3A です。

各部のなまえ (TVM-W910)



- ① **外光センサー**
周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動調整するためのセンサーです (☞ 14 ページ)。
- ② **液晶画面**
- ③ **ヘッドホン端子**
3.5mm ステレオミニプラグのヘッドホンを接続できます。
- ④ **WIDE/MENU ボタン**
画面の拡大方法を切り換えます (☞ 13 ページ)。
長く押す
メニュー画面を表示します (☞ 15 ページ)。
メニュー画面表示中
選択項目を確定します (☞ 15 ページ)。
- ⑤ **DIMMER ボタン**
画面の明るさを切り換えます (☞ 14 ページ)。
長く押す
各モードの初期設定値 (画面の明るさ) を変更します (☞ 14 ページ)。
- ⑥ **VOLUME -/+ ボタン**
音量を調節します (☞ 12 ページ)。
メニュー画面表示中
項目を選択します (☞ 15 ページ)。
- ⑦ **SRC/POWER ボタン**
電源をオンにします。電源オン時に押すと、映像入力を切り換えます (☞ 11, 12 ページ)。
長く押す
電源をオフにします (☞ 11 ページ)。
- ⑧ **HDMI 入力端子** (☞ 24 ページ)
- ⑨ **電源・AV インターフェースケーブル接続端子** (☞ 23 ページ)
- ⑩ **内蔵スピーカー** (☞ 12 ページ)
- ⑪ **取付金具固定部**
取付金具のデタッチ部を固定します。
(☞ 31 ページ)
※ 底面に 1/4 カメラネジ用穴があります。

各部のなまえ (TVM-W710)



準備する

- ① **液晶画面**
- ② **WIDE/MENU ボタン**
画面の拡大方法を切り換えます (☞ 13 ページ)。
長く押す
メニュー画面を表示します (☞ 15 ページ)。
メニュー画面表示中
選択項目を確定します (☞ 15 ページ)。
- ③ **DIMMER ボタン**
画面の明るさを切り換えます (☞ 14 ページ)。
長く押す
各モードの初期設定値 (画面の明るさ) を変更します (☞ 14 ページ)。
- ④ **▲/▼ボタン**
メニュー項目を選択します (☞ 15 ページ)。
- ⑤ **POWER ボタン**
電源をオン・オフします (☞ 11 ページ)。
- ⑥ **電源・AV インターフェースケーブル接続端子**
(☞ 23 ページ)
- ⑦ **取付金具固定部**
取付金具のデタッチ部を固定します。
(☞ 31 ページ)
※ 底面に 1/4 カメラネジ用穴があります。

操作する

電源オン・オフのしかた

1 車のエンジンをかける

⚠️ ご注意

- 車のバッテリー上がりを防ぐため、必ずエンジンをかけてください。
- 本機をダッシュボード付近など、運転者から見える位置に設置している場合は、必ずパーキングブレーキをかけた状態でエンジンをかけてください。



2 本機の電源をオンにする

TVM-W910 の場合：SRC/POWER ボタンを押す

TVM-W710 の場合：POWER ボタンを押す

3 電源をオフにするときは…

電源オンの状態で、

TVM-W910 の場合：SRC/POWER ボタンを長く押す

TVM-W710 の場合：POWER ボタンを押す

📢 お知らせ

- 本機を初めてお使いになる際は、必ずモニター位置設定（☞ 20 ページ）でモニターの設置位置を設定してください。

■ 入力を切り換える

TVM-W910 のみ

TVM-W910 の場合、地上デジタルチューナーや DVD プレーヤーなどをつないで、最大 3 系統の入力映像を切り換えて表示できます (VIDEO1 / VIDEO2 / HDMI)。

入力を切り換えるには以下の方法で行います。

SRC/POWER ボタンを押す

押すたびに以下のように切り換わります。

[VIDEO01] → [VIDEO02] → [HDMI] → [VIDEO01] に戻る

※ 切り換えた際、画面左上に現在の入力が表示 (約 3 秒間) されます。



ご参考

- 機器が接続されていないなど、切り換えた入力からの映像信号がない場合は、画面左上に表示される現在の入力表示は消えません。
- 画面に表示される名称を「DVD1」、「地デジ 1」など、接続した機器に合わせて変えることもできます (☞ 19 ページ)。

操作する

■ 音量を調節する

TVM-W910 のみ

TVM-W910 の場合、背面にある内蔵スピーカーで音声を聞くことができます。また、本体上面にあるヘッドホン端子 (☞ 9 ページ) にヘッドホンをつないで音声をとお楽しみいただくこともできます。

VOL - / + ボタンを押す

VOL -	音量を下げる時
VOL +	音量を上げる時

音量は 0 (最小) ~ 30 (最大) の範囲で調節できます。

※ 「0」は消音 (ミュート) となります。



ご参考

- ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音声は出力されません。

■ ワイドモードを切り換える

映像を画面いっぱいに拡大表示したり、入力映像に合わせてモードを選んで表示できます。

WIDE/MENU ボタンを押す

押すたびに以下のように切り換わります。

[AUTO] → [FULL] → [JUST] → [CINEMA] →
[ZOOM] → [NORMAL] (→ [FIT*]) → [AUTO] に戻る

※ 切り換えた際、画面左下に現在のモードが表示（約3秒間）されます。

AUTO	入力映像信号に合わせて最適なワイドモードに自動で切り換えます。
FULL	映像を左右方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。 縦横比が4:3の入力映像の場合、横長の映像となります。
JUST	映像を左右方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。 拡大率は画面中央付近は小さく、画面の左右端に近づくにつれ大きくなります。
CINEMA	映像を上下方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。 映像の上下がカットされます。
ZOOM	映像を上下・左右方向に均一に拡大して表示します。 映像の周囲（上下左右の一部）がカットされます。
NORMAL	画面の左右に黒い帯が表示されます。 縦横比が16:9の入力映像の場合、縦長の映像となります。
FIT*	HDMI入力選択時、映像を最適な大きさで表示します。

* TVM-W910で、映像入力を[HDMI]にしているときのみ表示、選択できます。



ご参考

- TVM-W910の場合、ワイドモードの設定内容はVIDEO1、VIDEO2、HDMIの入力系統ごとに個別に記憶されます。

設定するときは、**SRC/POWER** ボタンを押して設定を行いたい入力を選び、**WIDE/MENU** ボタンでモードを選びます。



ご注意

- 「CINEMA」および「ZOOM」モードでは映像中、画面に表示しきれない部分が生じます。

モニター画面の明るさを切り換える

本機はモニター画面の明るさを調節できる、ディマー機能を搭載しています。
TVM-W910 の場合、「AUTO」モードを選択すれば、センサーが周囲の明るさを検知して自動で最適な明るさに調光します。

DIMMER ボタンを押す

押すたびに以下のように切り換わります。

([AUTO*] →) [昼間] → [夕方] → [夜] → [AUTO] (TVM-W710 の場合は [昼間]) に戻る

※ 切り換えた際、画面左下に現在のモードが表示 (約 3 秒間) されます。

AUTO*	モニター前面にある外光センサーで周囲の明るさを検知し、最適な明るさに自動調光します。
昼間	昼間など、周囲の明るさが明るいときに最適なモードです。
夕方	夕方など、周囲の明るさが薄暗いときに最適なモードです。
夜	夜間など、周囲の明るさが暗いときに最適なモードです。

* TVM-W910 のみ選択できます。

各モードの初期設定値 (明るさ) を変更する

「昼間」、「夕方」、「夜」各モードの初期設定値 (明るさ) を変更することができます。
変更するには以下の手順で操作を行います。

※ TVM-W710 のときは () 内のボタンを使用します。

1 DIMMER ボタンを押し、設定値を変更したいモードに切り換える

ボタンを押すたび現在のモードが画面左下に表示されます。

2 DIMMER ボタンを長く押す

選んだモード名と、現在の設定値が表示されます。

3 VOL -/+ (▲/▼) ボタンで変更する

1 (暗い) ~ 32 (明るい) の間で設定できます。

変更後、変更した設定値を表示 (約 3 秒間) し、設定が終了します。

※ 他のモードも変更するときは、再び手順 1 から操作を行ってください。

各種設定のしかた

メニュー項目一覧

本機の設定メニューは下表のような構成になっています。

【TVM-W910/TVM-W710 共通】

メニュー名	設定項目	設定値
画質 (☞ 16 ページ)	モード	DYNAMIC
		STANDARD
		CINEMA
		USER
	明るさ	- 24 ~ + 24
	コントラスト	- 24 ~ + 24
	色の濃さ	- 24 ~ + 24
色合い	- 24 ~ + 24	
シャープネス	- 7 ~ + 7	

【TVM-W910 のみ】

メニュー名	設定項目	設定値
音質 (☞ 17 ページ)	高音	- 3 ~ + 3
	低音	- 3 ~ + 3
HDMI リンク (☞ 18 ページ)	切・入	—
入力名称 (☞ 19 ページ)	VIDEO1	VIDEO1 / GAME1 / 地デジ 1 / DVD1
	VIDEO2	VIDEO2 / GAME2 / 地デジ 2 / DVD2
	HDMI	HDMI / GAME3 / 地デジ 3 / DVD3

各種設定のしかた

メニュー操作・設定のしかた

メニューの表示や操作、設定には以下のボタンを使用します。

操作の内容	使用するボタン
メニュー画面を表示する	WIDE/MENU ボタン (長く押す)
メニューの項目や設定値を選ぶ	VOL - / + ボタン (TVM-W710 は ▲ / ▼ ボタン)
選んだ項目や設定値を確定する	WIDE/MENU ボタン

- ※ メニュー画面表示中に **WIDE/MENU ボタン** を長く押すと表示が消え、元の画面に戻ります。
- ※ メニュー画面を表示したまま何も操作を行わない状態が約 30 秒間続くと、画面表示は消えます。
- ※ 各項目設定後、本機を初期 (工場出荷時) 状態に戻したいときは、設定のリセットを行ってください (☞ 21 ページ)。

画質設定

※ TVM-W710 のときは () 内のボタンを使用します。

1 WIDE/MENU ボタンを長く押す

メニュー画面が表示されます。

➡ TVM-W710 の場合…手順 **3** に進む

2 「画質」が選ばれているので、そのまま WIDE/MENU ボタンを押す

「画質」メニューが表示されます。

3 調整する設定項目を VOL - / + (▲ / ▼) ボタンで選び、WIDE/MENU ボタンを押す

画面左下に現在の設定値が表示されます。

4 VOL - / + (▲ / ▼) ボタンで調整する

5 調整が終わったら、WIDE/MENU ボタンを押す

「画質」メニュー画面に戻ります。

6 VOL - / + (▲ / ▼) ボタンで「終了」を選び、WIDE/MENU ボタンを押す

メニュー画面を終了します。

画質

モード	DYNAMIC
明るさ	0
コントラスト	0
色の濃さ	0
色合い	0
シャープネス	0
終了	

※画面の設定値は機種により異なります。

モード

映像内容に適した画質に調節します。

DYNAMIC	コントラストを強調した、メリハリのある映像にします。
STANDARD	標準の設定です。
CINEMA	コントラストを抑え、暗い映像も見やすくします。
USER	好みの画質に調整できます。

「USER」モードに限り、下記の設定値を変更して好みの画質に調節できます。

明るさ

画面の明るさを調節します。

設定値 - 24 ~ + 24

コントラスト

画面の明暗の差を調節します。

設定値 - 24 ~ + 24

色の濃さ

画面の色の濃さを調節します。

設定値 - 24 ~ + 24

色合い

画面の色合いを調節します。

設定値 - 24 ~ + 24

シャープネス

画面の輪郭を調節します。

設定値 - 7 ~ + 7

終了

メニュー画面を終了します。

音質設定

TVM-W910のみ

- 1 WIDE/MENU ボタンを長く押す**
メニュー画面が表示されます。
- 2 VOL -/+ ボタンで「音質」を選び、WIDE/MENU ボタンを押す**
「音質」メニューが表示されます。
- 3 調整する設定項目をVOL -/+ ボタンで選び、WIDE/MENU ボタンを押す**
画面右の現在の設定値にカーソルが移動します。
- 4 VOL -/+ ボタンで調整する**
- 5 調整が終わったら、WIDE/MENU ボタンを押す**
画面左のメニュー項目にカーソルが移動します。
- 6 VOL -/+ ボタンで「終了」を選び、WIDE/MENU ボタンを押す**
メニュー画面を終了します。

音質

高音	0
低音	0
終了	

高音

高音域の強調度を設定します。

設定値	-3 ~ +3
-----	---------

低音

低音域の強調度を設定します。

設定値	-3 ~ +3
-----	---------

終了

メニュー画面を終了します。

各種設定のしかた

HDMI リンク設定

TVM-W910のみ

HDMI リンク機能を有効・無効に設定します。

HDMI リンク機能は、本機の HDMI 端子につないだ再生機器などを本機と連動して、電源切替や自動入力切替を行う、より便利にお使いいただける機能です。

入	HDMI リンク機能を有効にする
切	HDMI リンク機能を無効にする

お知らせ

- 本機は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) 規格に対応した機器との間で連動操作を行うことができます。ただし上記規格に対応した機器であっても、各機器メーカー独自の拡張機能や互換性等により、本機能の一部、または全部が正常に動作しない場合があります。

各種設定のしかた

1 WIDE/MENU ボタンを長く押す

メニュー画面が表示されます。

2 VOL -/+ ボタンで「HDMI リンク」を選び、WIDE/MENU ボタンを押す

画面右の現在の設定値にカーソルが移動します。

設定
画質
音質
HDMIリンク **切**
入力名称
終了

3 VOL -/+ ボタンで「切」または「入」を選ぶ

押すたびに入/切が切り換わります。

4 設定が終わったら、WIDE/MENU ボタンを押す

画面左のメニュー項目にカーソルが移動します。

5 VOL -/+ ボタンで「終了」を選び、WIDE/MENU ボタンを押す

メニュー画面を終了します。

入力名称設定

TVM-W910のみ

入力切替時、画面左上に表示される入力名称を、接続した機器の種類に合わせて変更できます。設定できる名称は下表の通りです。

入力	設定できる名称
VIDEO1	VIDEO1 / GAME1 / 地デジ 1 / DVD1
VIDEO2	VIDEO2 / GAME2 / 地デジ 2 / DVD2
HDMI	HDMI / GAME3 / 地デジ 3 / DVD3

1 WIDE/MENU ボタンを長く押す

メニュー画面が表示されます。

2 VOL - / + ボタンで「入力名称」を選び、WIDE/MENU ボタンを押す

「入力名称」メニューが表示されます。



入力名称
VIDEO1
VIDEO2
HDMI
終了

VIDEO1
VIDEO2
HDMI

3 変更したい入力 (VIDEO1、VIDEO2 など) を VOL - / + ボタンで選び、WIDE/MENU ボタンを押す

画面右の現在の設定値にカーソルが移動します。

4 VOL - / + ボタンで変更する

5 設定が終わったら、WIDE/MENU ボタンを押す

画面左のメニュー項目にカーソルが移動します。

6 VOL - / + ボタンで「終了」を選び、WIDE/MENU ボタンを押す

メニュー画面を終了します。

モニター位置設定

本機を取り付ける位置に合わせて設定します。
本機を初めてお使いになる際は、必ず設定を行ってください。

フロント	運転者からモニター画面が見える位置に本機を設置したとき
リア	運転者からモニター画面が見えない位置に本機を設置したとき

⚠ ご注意

- 安全な走行のため、本機の取付位置に関する設定を必ずお守りください

本機はフロント用、リア用いずれの用途でもお使いいただけますが、運転者が走行中に映像を見ることが出来る位置に取り付けた場合は、モニター位置設定を必ず「フロント」に設定してください。なお「フロント」に設定した場合、走行中などパーキングブレーキがかかっていない状態では映像が表示されない設計となっています。(走行中は「安全のため走行中は表示されません」のメッセージが表示されます。) 運転者が映像をご覧になる際は、必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でお楽しみください。

※ TVM-W710 のときは () 内のボタンを使用します。

1 本機の電源がオフの状態、WIDE/MENU ボタンを押し続けながら SRC/POWER (POWER) ボタンを長く押す

モニターの電源がオンになり、システムメニュー画面が表示されます。



2 「設置位置」が選ばれているので、そのまま WIDE/MENU ボタンを押す

画面右の現在の設定値にカーソルが移動します。

3 VOL -/+ (▲/▼) ボタンで「フロント」または「リア」を選ぶ

4 設定が終わったら、

TVM-W910 の場合：SRC/POWER ボタンを長く押す
TVM-W710 の場合：POWER ボタンを押す

設定が保存され、モニターの電源が切れます。

設定を初期化する（リセット）

本機の設定をリセットし、工場出荷時の状態に戻します。

※ TVM-W710 のときは（ ）内のボタンを使用します。

1 本機の電源がオフの状態、WIDE/MENU ボタンを押し続けながら SRC/POWER (POWER) ボタンを長く押す

モニターの電源がオンになり、システムメニュー画面が表示されます。

2 VOL - / + (▲ / ▼) ボタンで「リセット」を選び、WIDE/MENU ボタンを押す

押すとただちに設定がリセットされ、本機が自動的に再起動します。

必要に応じ、設定等の操作を行ってください。



お知らせ

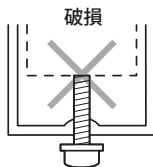
- 本機をリセットした後は、お使いになる前に必ずモニター位置設定 (☞前ページ) を行ってください。

接続のしかた

■ 接続の前に ～ 知っておいていただきたいこと ～

取り付け上のご注意

- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにはずれたりして危険です。



⚠️ ご注意

配線時は以下にご注意ください

- モニター側のコネクタは、全ての配線が完了したあと、再度接続を確認してから接続してください。
- 電源はアクセサリ電源（ACC 電源）から取ってください。バッテリー電源から取ると、バッテリー上がりの原因となります。
 - アクセサリ電源：エンジンキーを抜いたときに切れる。
 - バッテリー電源（常時電源）：常に電源が入っている。
- パーキングブレーキスイッチのリード線（若草色）は、必ずパーキングブレーキスイッチの＋側（電源側）に接続してください。

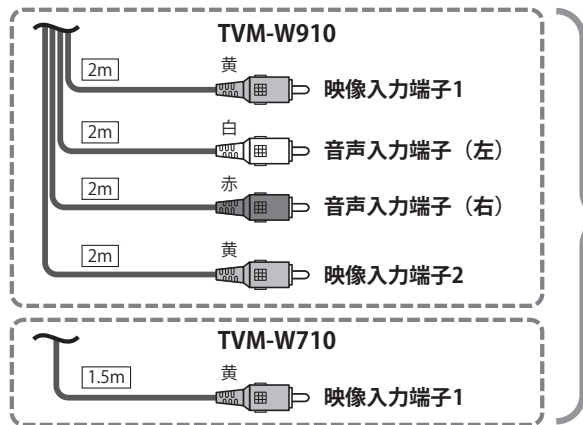
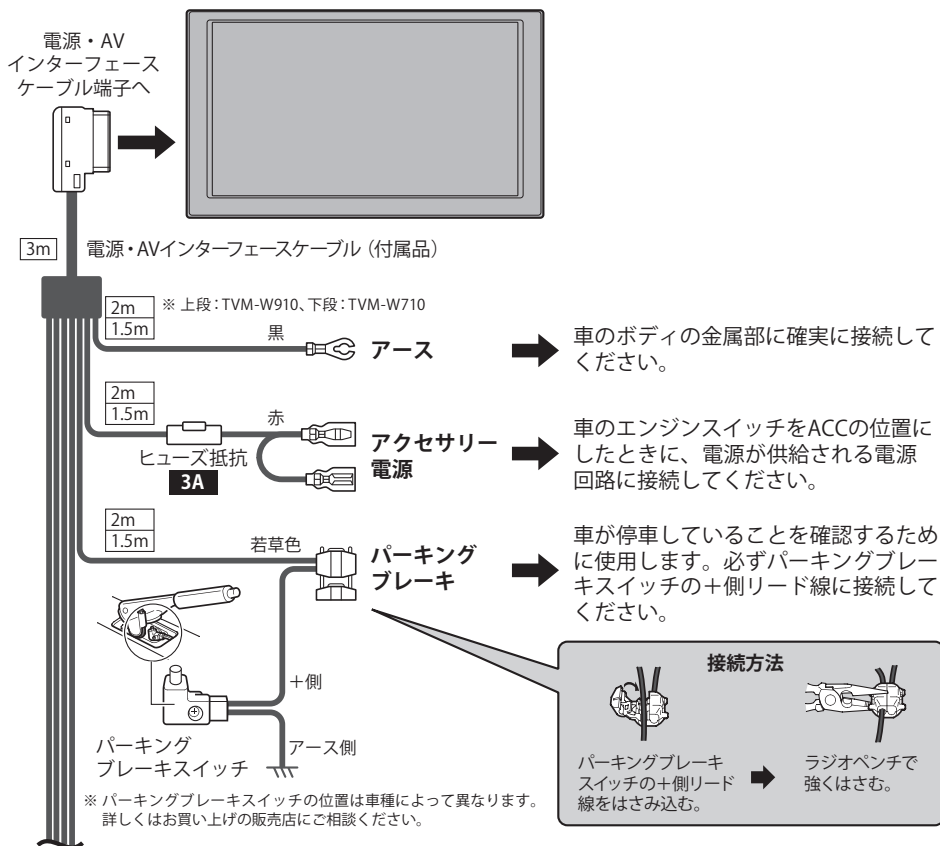
🔧 ご参考

- モニター側のコネクタを接続する際は、差し込む方向を確認してから、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。また、無理に挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- コネクタをはずすときは、ロック用のタップを押しながら手前に引き抜きます。その際、必ずコネクタ部を持って引き抜いてください。コード部を引っ張ると、接続不良や断線の原因となります。



電源・AV インターフェースケーブルをつなぐ

専用の電源・AV インターフェースケーブル（付属品）を使用して各部に配線・接続します。
接続について詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

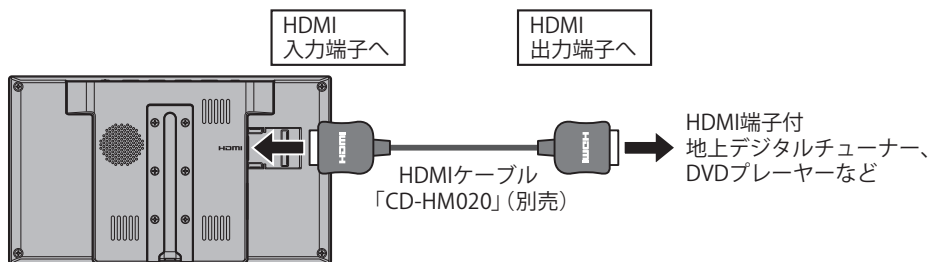


DVD プレーヤー、
地上デジタル
チューナーなど
接続機器の各RCA
出力端子へ

接続のしかた

HDMI ケーブル「CD-HM020」(別売)を使用して接続します。
接続について詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

※ HDMI ケーブルは別途、専用の HDMI ケーブルをお買い求めください。市販の HDMI ケーブルを使用すると、カバーが取り付けできなかったり、コネクタ部の破損の原因となります。



※ HDMI, HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

ご参考

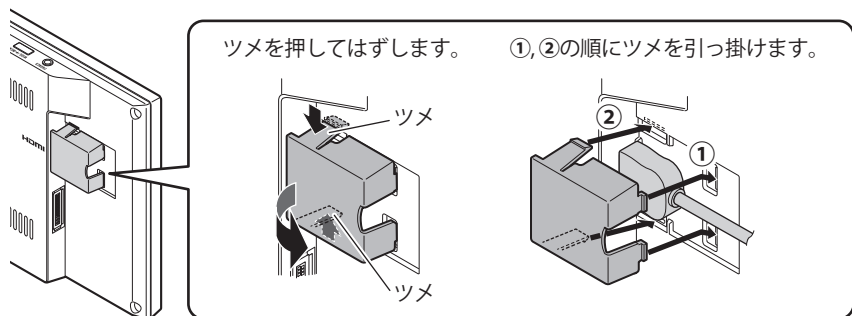
HDMI 端子について

- 映像・音声およびコントロール信号を1本のケーブルでデジタル伝送できるため、デジタルハイビジョン放送などをより鮮明な映像で楽しめます。

ご注意

- 接続する機器によっては、映像や音声が正常に出力されない場合があります。その際は他の出力端子をご使用ください。

接続の際は HDMI 端子カバーをはずしてください。
接続が終わったら、カバーを再度取り付けてください。



取り付けの前に ~ 知っておいていただきたいこと ~

⚠ ご注意

ダッシュボード付近に取り付ける場合は以下の点にご注意ください

- ・前方視界 * および直前側方視界 * を妨げないこと (*下記「ご参考」参照)
- ・エアバッグシステムの動作を妨げないこと
- 前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けた場合、道路運送車両の保安基準^(※)に適合せず、車検に通らない、整備不良の対象となるなどの場合があります。
※ 保安基準とは、昭和26年7月28日施行運輸省令第67号道路運送車両の保安基準における第21条及び第44条第5項の告示で定める基準をいいます。
- 当社推奨以外の方法で取り付けたり、本製品に付属の部品以外のものを使用すると、事故やケガの原因となるおそれがあります。この場合、当社では一切の責任を負いかねます。



ご参考

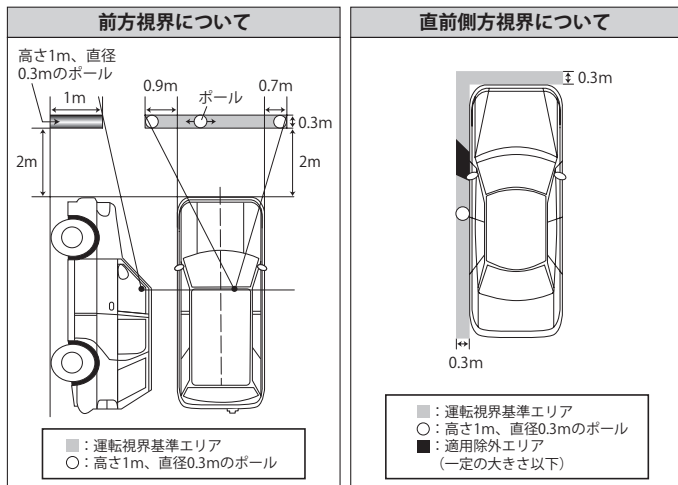
前方視界および直前側方視界について

● 前方視界基準

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接確認できるように取り付けてください。

● 直前側方視界基準

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取り付けてください。



※ いずれの基準も、左ハンドル車の場合は左右逆となります。

モニターを取り付ける

⚠ ご注意

本金具にモニターを取り付けてご使用の際は、必ずシートベルトで身体をシートに固定してください。シートベルトをしていないと、急ブレーキなどにより本金具やモニターに身体、または身体の一部をぶつけ、重大な事故が発生する可能性があります。

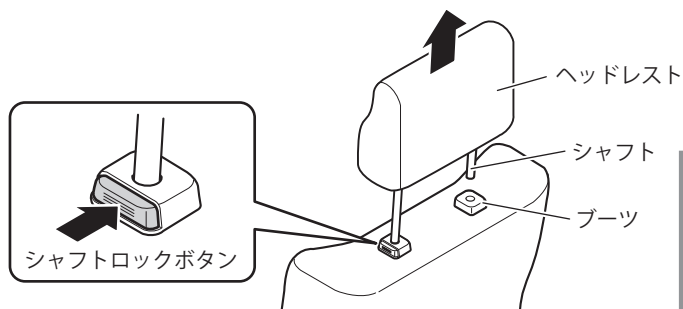
取り付け上のご注意

- 付属の六角レンチは、小さなお子様が悪戯するおそれがありますので、お子様の手の届かないところへ保管してください。
- 乗車時は、モニターを取付金具から取りはずして使用しないでください。
- ネジは必ず締めてご使用ください。また、製品を分解、改造したり、製品以外の荷重をかけたりしないようにしてください。
- 本金具は、左席のブーツに固定するタイプです。ブーツのない車種ではご使用になれません。また、バケットシートやヘッドレスト一体型の車種でもご使用になれません。
- シャフトやブーツが特殊形状の車種については、本金具を取り付けられないことがあります。
- 本金具は、衝突時に衝撃を軽減させるために移動するタイプのヘッドレストには装着しないでください。

専用の取付金具（付属品）を使用して固定します。

取付金具を取り付ける

1 シャフトロックボタンを押し、ヘッドレストをはずす

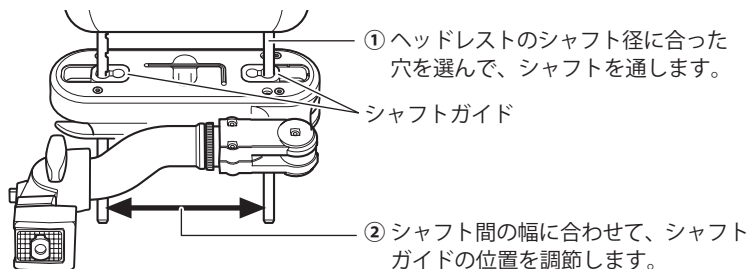


⚠ ご注意

- シャフトロックボタンが外側に向いていない車種では、本取付金具をお使いになれません。

2 シャフトガイドを調節する

シャフトガイドの調節方法について詳しくは、次ページをご覧ください。

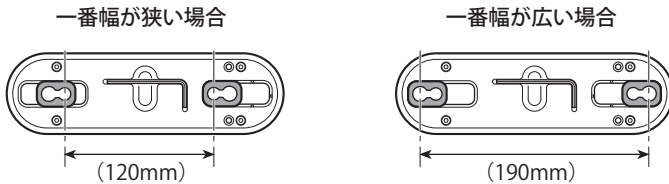


モニターを取り付ける (つづき)

シャフトガイドの調節のしかた

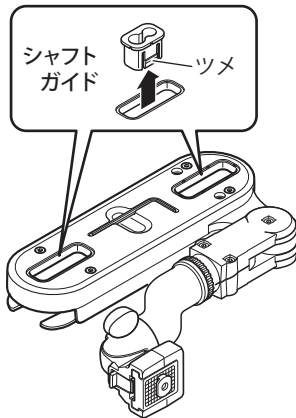
■シャフトガイドの位置(例)

取り付けできるのは、シャフト間の幅が120mm~190mm、シャフト径が10mmまたは13mmの車種です。



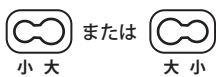
■シャフトガイドの取りはずし

取付金具の裏からシャフトガイドのツメ部分を押し上げてはずします。

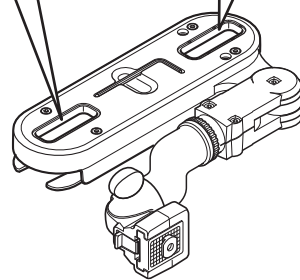
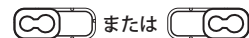


■調節・取り付け

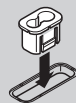
シャフトガイド (左側)
必要に応じて向きを変えて取り付けます。



シャフトガイド (右側)
穴の右端、または左端に寄せて取り付けます。
(向きは変更できません。)

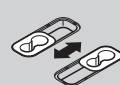


【取り付けかた】



取付金具にツメを確実にロックさせて取り付けます。

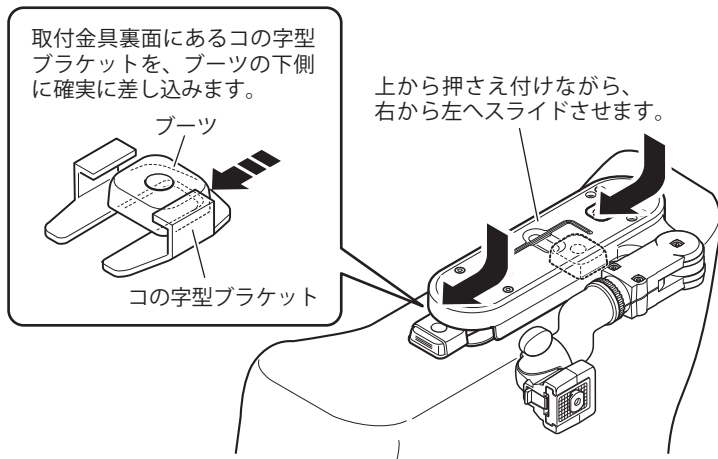
【調節のしかた】



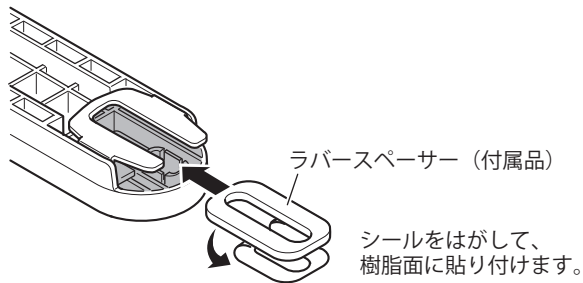
左側のシャフトガイドをスライドさせて調節します。

モニターを取り付ける (つづき)

3 ヘッドレストのシャフトブーツに取り付金具を取り付ける



シート地の材質や形状によっては、取付金具のガタつきがやや大きいことがあります。このような場合は、付属のラバースパースーを併用して取り付けてください。

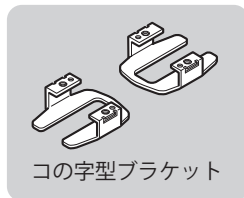
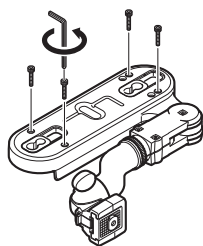
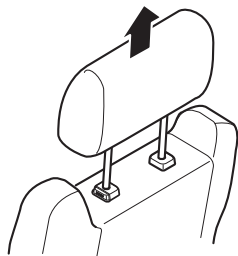


モニターを取り付ける (つづき)

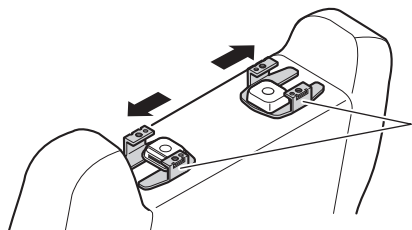
取付金具をスライドさせることができない車種の場合

シャフトブーツ両脇に肩があり、取付金具をスライドさせて取り付けられない車種の場合は、コの字型ブラケットを取りはずし以下の要領で取り付けを行います。

- ① シャフトロックボタンを押して、ヘッドレストをはずします。
- ② 取付金具の下図位置にあるネジを六角レンチではずし、コの字型ブラケットを取りはずします。

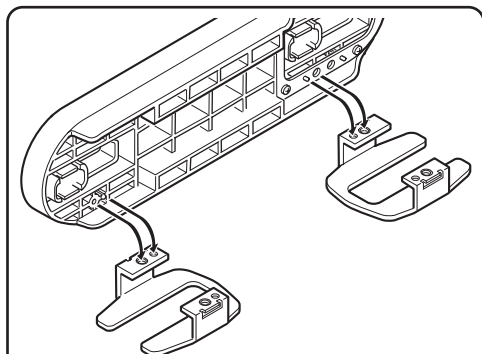


- ③ 取りはずしたコの字型ブラケットをシャフトブーツに取り付けます。

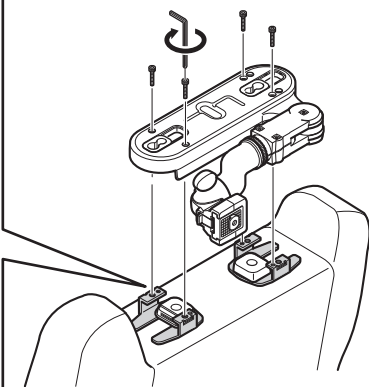


コの字型ブラケットの開いた方が外向きになるように取り付けます。

- ④ 取付金具を上から重ね、ネジで取り付けます。

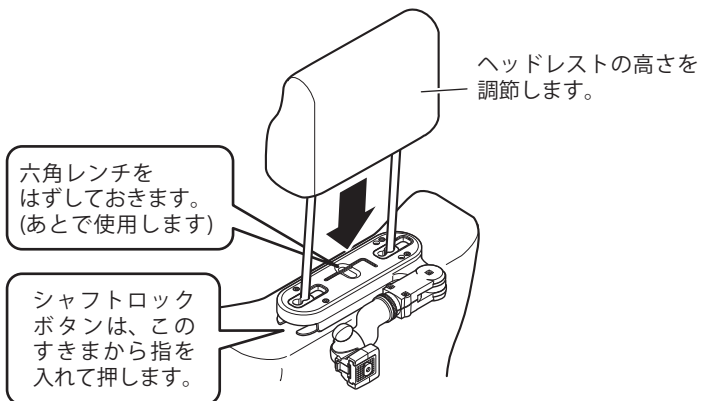


コの字型ブラケットの穴に、取付金具裏面のガイドピン（突起）が合うようにして取り付け、ネジで締め付けます。



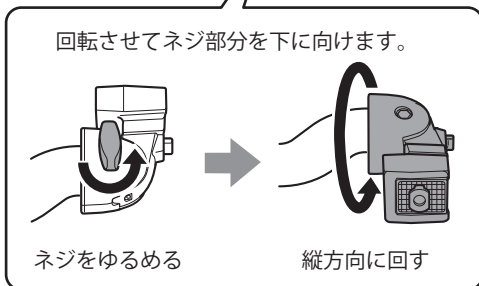
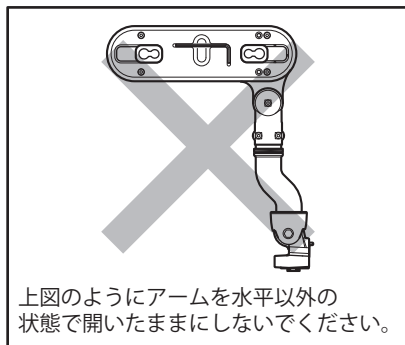
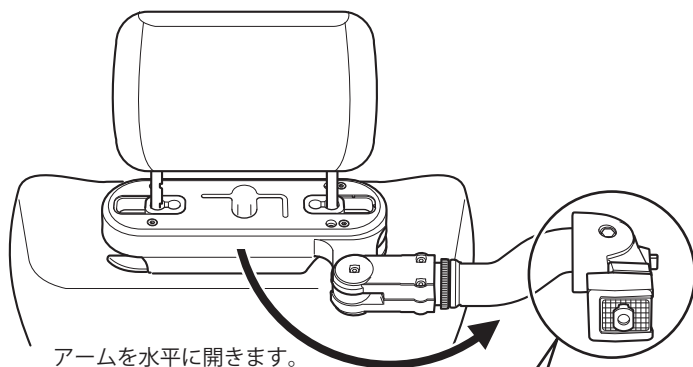
モニターを取り付ける (つづき)

4 ヘッドレストをシャフトガイドの穴に通し、元通りにブーツに差し込む



モニター本体を取り付ける

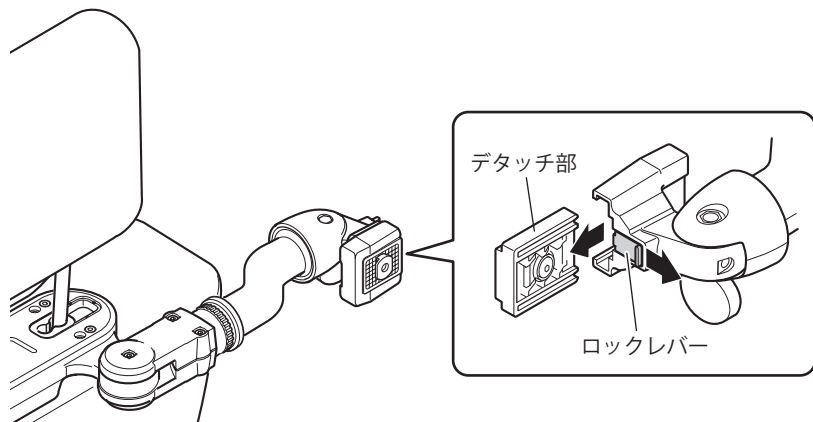
1 アームを開き、モニターを取り付けやすい位置に調節する



モニターを取り付ける (つづき)

2 デタッチ部をはずす

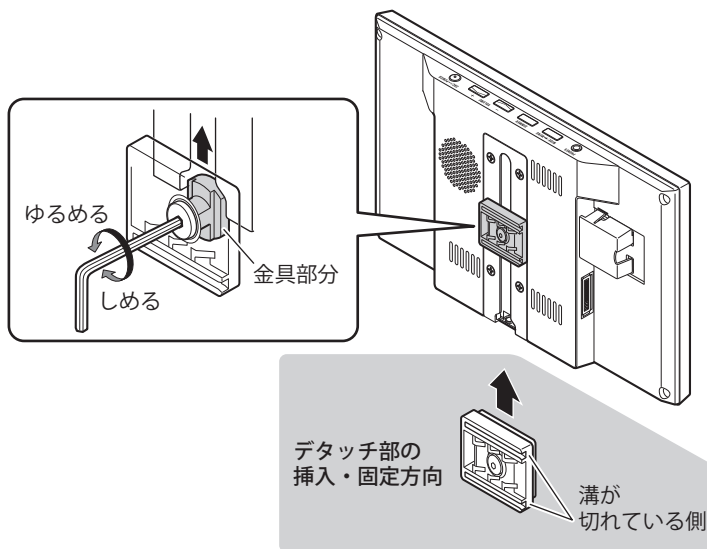
ロックレバーを引きながら、デタッチ部をスライドさせてははずします。



3 モニターにデタッチ部を取り付ける

モニター背面にあるスリットに、デタッチ部の金具部分をスライドさせて入れ、付属の六角レンチでネジを締めて確実に固定します。

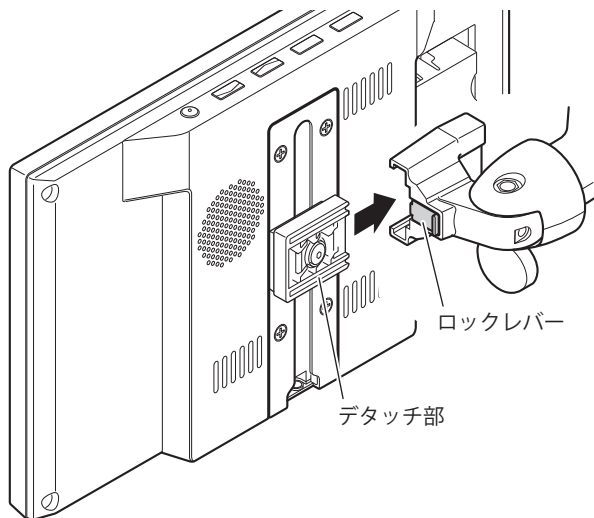
※ デタッチ部の固定位置は適宜調整してください。



モニターを取り付ける (つづき)

4 アームにモニターを取り付ける

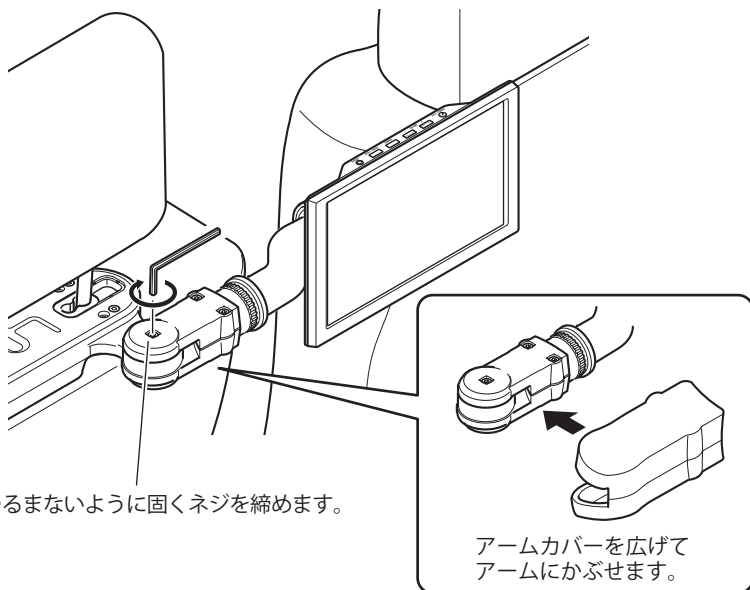
デタッチ部を取り付け、奥に突き当たるまでスライドさせます。
ロックレバーにより確実に固定されたことを確認してください。



接続のしかた

5 アームカバーを取り付ける

各部にゆるみやガタツキがないかを確認し、付属のアームカバーをかぶせてください。



モニターを取り付ける (つづき)

動作確認をする

接続・取り付けが完了したら、以下の手順に従い本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続、取り付けをもう一度確認する

接続部分、取付部分を確認し、ゆるんだりはずれたりしている箇所がないかもう一度確認してください。

2 車のエンジンをかける



3 本機をリセットする

リセットのしかたは「設定を初期化する (リセット)」(☞ 21 ページ) をご覧ください。

4 本機の動作を確認する

必ずモニター位置設定 (☞ 20 ページ) を行ってください。




おもな仕様

型番		TVM-W910	TVM-W710	
品名		9V型ワイドVGAモニター	7V型ワイドVGAモニター	
本体寸法（突起部含まず）		233mm(W) × 135.5mm(H) × 25.5mm(D)	185mm(W) × 109mm(H) × 25.5mm(D)	
本体質量		約 500g	約 310g	
使用電源 / 最大消費電流		DC14.4V/0.8A	DC14.4V/0.4A	
アース方式		マイナスアース方式		
使用温度範囲		- 10℃～+ 60℃		
液晶パネル	画面サイズ	9V型ワイドVGA (有効表示エリア： 横 198.0mm × 縦 111.7mm)	7V型ワイドVGA (有効表示エリア： 横 154.1mm × 縦 85.9mm)	
	表示方式	透過型 TN 液晶		
	駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式		
	解像度	横 800 × 縦 480		
使用光源		LED		
内蔵スピーカー		36mm × 1	—	
入出力端子	ビデオ入力端子	2 系統	1 系統	
	音声入力端子	1 系統	—	
	HDMI 入力端子	1 系統 (480i/480p/1080i/720p)	—	
	ヘッドホン出力端子	1 系統	—	
付属品	電源・AV インターフェースケーブル	1 本		
	HDMI コネクターカバー	1 個	—	
	取付金具	モニター取付金具	1 個	
		六角レンチ	1 個	
		アームカーバー	1 個	
		ラバースペーサー	2 個	

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
<p>映像も音声もない</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン ON または ACC-ON になっていますか？ ● 本機の SRC/POWER (POWER) ボタンは押ししましたか？ ● 正しく接続されていますか？コネクターやケーブルがゆるんだり、はずれたりしていませんか？ ● 接続機器から正しく出力されていますか？ ● 各種設定は正しいですか？ ● ヒューズが切れていませんか？ヒューズが切れた原因を解決してから、切れたヒューズと同じ容量のものと同交換してください。 ● 本機は、周囲の温度が高いと判断すると保護機能により電源が入らなくなります。エアコンを使用するなど、車内の温度を下げてください。 ● TVM-W910 の場合、入力切替で、機器が接続されていない入力を選んでいませんか？ 	<p>11 11 23, 24 — 15 ~ 17 23 36 12</p>
<p>音が出ない (TVM-W910 のみ)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量が最小 (0) になっていませんか？ ● 音声入力端子は接続機器の音声出力端子に接続されていますか？ <p>※TVM-W710 の場合は内蔵スピーカーを装備していないため、音声は出力されません。</p>	<p>12 23</p>
<p>映像が横長や縦長になる</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイドモードを変更してみてください。 選んだワイドモードによって映像が横長や縦長表示になる場合があります。 	<p>13</p>
<p>リアモニターとして使用時、走行中画面に「安全のため走行中は表示されません」が表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● モニター位置設定が「フロント」になっています。 	<p>20</p>
<p>映像が明るい、または暗い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 明るさの調整が適切でない。 ● コントラストの調整が適切でない。 ● 本機は、周囲の温度が高いと判断すると保護機能により液晶画面が暗くなります。エアコンを使用するなど、車内の温度を下げてください。 ● 本機は画面の明るさを調節する、ディマー機能を搭載しています。他のモードに切り換えるか、各モードの明るさが最適となるよう調整・設定を行ってください。 <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>	<p>16 16 36 14</p>

故障かな?と思ったら (つづき)

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像が明るい、 または暗い (つづき)	<ul style="list-style-type: none">● TVM-W910 の場合、モニター前面にある外光センサーで周囲の明るさを検知し、最適な明るさに自動調光 * するディマー機能を搭載しています。 (* 画面の明るさを「AUTO」モードに設定している場合のみ機能します。) 外光センサーが明るさを正しく検知できていない可能性があります。外光センサー部分にシールを貼ったり、物で覆ったりしていませんか？	9, 14
映像の色が濃い、薄い	<ul style="list-style-type: none">● 色の濃さの調整が適切でない。● 液晶モニターは、周囲の温度が高いと画面が暗くなる場合があります。エアコンを使用するなど、車内の温度を下げてください。	16 —
映像の色合いがおかしい	<ul style="list-style-type: none">● 色合いの調整が適切でない。	16
液晶画面の中に、小さな 黒点や輝点がある	<ul style="list-style-type: none">● 液晶画面特有の現象で、故障ではありません。	—



ご参考

オーバーヒート検出について

本機は温度センサーを内蔵しており、機器温度が高すぎると判断した場合は内部回路の保護のため、液晶画面を暗くしたり動作を停止したりします。機器温度が低下すると自動的に通常動作に復帰します。

オーバーヒートが検出された場合はエアコンを使用するか、窓を開けるなどして車内の温度を下げてください。

急激な温度変化は機器に回復不可能な障害を与える場合があるため、保冷剤や氷などにより強制的に冷却することは絶対にしないでください。

■メモ

メモ

■メモ



安全に関するご注意

ご使用前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

●配線の取り付け・取り外しは専門の技術者に依頼してください。

●運転や乗り降りの妨げにならないように配線してください。

保証書に関するお願い

- 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。
- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後、最低8年間です。

Pioneer

サービス窓口のご案内

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>「0120」で始まる【F】フリーコールおよび【P】フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上おかけいただきますようお願いいたします


パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■カーオーディオ/カーナビゲーション商品

電話  0120-944-111 一般電話 044-572-8101
 ファックス 044-572-8103
 インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
 ※商品について良くあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など



修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上おかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名 ② ご購入日 ③ 故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ●お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口



受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  0120-5-81028 一般電話 044-572-8100
 ファックス  0120-5-81029
 インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>
 ※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付ております

部品のご購入についてのご相談窓口 ●部品（付属品、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  0120-5-81095 一般電話 044-572-8107
 ファックス  0120-5-81096

パイオニア株式会社

〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉 1-1

©パイオニア株式会社 2013
HU01UG575RZZH
U01UG575RZZ(O)